

### 国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	中国四国地区（主担当大学：広島大学）
事業名	「図書館資料補修講座：本の保存と修理」
事業目的・趣旨	図書館所蔵資料を長期保存し活用していくため，図書館職員が資料保存に関する知識および技術を習得できるよう，実習中心の研修を開催する。
実施内容	日時：平成28年9月2日（金）13:00-17:00 会場：愛媛大学：中央図書館4階（松山市文京町3番） 主催：国立大学図書館協会中国四国地区協会 後援：中国四国地区大学図書館協議会，愛媛地区大学図書館協議会 対象：大学図書館職員 プログラム 12:30-13:00 受付 13:00-13:10 開会挨拶 13:10-16:10 講義と実習 「図書館資料の保存」 講師：植原 亜莉奈 氏（国立国会図書館 収集書誌部 資料保存課 洋装本保存係） ・図書館における資料保存の考え方に関する講義 ・図書館資料の軽微な破損（ページの破れ、1～2ページ 程度の脱落など）に対する簡易な補修手当ての実習 16:10-16:30 質疑応答 16:30-16:50 アンケート 16:50-17:00 閉会挨拶
事業の成果 （アンケート調査 結果、事業への意 見・感想等）	【参加者】20名（14機関） *当日欠席1名（1機関） 【参加者内訳】大学（国立：13，公立：3，私立：3），その他：1 講演「図書館における資料保存の考え方に関する講義」においては， 資料を良好な状態で保存していくことの重要性および具体的な注意点 等について学んだ。 続いて，実技「図書館資料の軽微な破損」においては，各自が補修道 具を用いてさまざまな補修技法について学んだ。 今後各図書館で資料保存方法を検討していく際，また実際に補修を行 う際の実践的な知見を得ることができた。  参加者アンケートの詳細は別紙のとおり。